「医薬品企業総覧2009 -10」のお詫びと訂正

編集過程の名簿管理の不手際により、アンケートにご回答いただいていた大正製薬株式会社様の情報を本文に掲載できませんでした。

読者の皆様をはじめ、大正製薬株式会社様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。お詫び致しますとともに、追加別刷りをご活用くださいますようお願い申し上げます。

2010年1月15日

株式会社　じほう

大正製薬株式会社

TAISHO PHARMACEUTICAL CO., LTD.

本社

〒170-8633　豊島区高田3-24-1

TEL 03-3985-1111

FAX 03-3985-8627

http://www.taisho.co.jp/

業　績

《単独》（単位：百万円）

年.月	売　上	総利益	営業利益	経常利益	税引利益	配当(円)
17.3	232,858	164,669	52,685	56,599	35,779	25
18.3	223,034	152,692	44,764	49,018	36,057	30
19.3	194,356	128,696	21,507	27,527	16,749	27
20.3	201,665	132,993	34,207	40,122	25,910	27
21.3	198,856	131,783	32,007	38,981	11,863	27
22.予	199,500	131,300	29,500	36,500	23,500	27

《連結》（単位：百万円）

年.月	売　上	総利益	営業利益	経常利益	税引利益	配当(円)
17.3	279,437	194,582	54,698	58,063	35,489	
18.3	271,407	184,720	46,395	49,748	35,884	
19.3	242,071	159,850	22,357	24,926	15,420	
20.3	249,655	164,488	36,952	41,896	25,004	
21.3	256,213	169,462	37,935	39,902	8,815	
22.予	257,000	168,500	34,000	39,000	23,000	

財　務　連結（21年3月決算,単位:百万円,総資産対比％）

流動資産	215,872	36.5％
固定資産	375,696	63.5％
総資産	591,568	100.0％
流動負債	54,130	9.1％
固定負債	22,927	3.9％
内借入金	1,655	0.3％
株主資本	516,948	87.4％

業績動向

＜セルフメディケーション事業＞

セルフメディケーション事業の売上高は1,611億円（前期比5.5%増）となりました。

○一般用医薬品等

ドリンク剤「リポビタンシリーズ」は天候不順に加え，健康飲料との競合激化や景気悪化の影響などで748億円（同2.3％減）となりました。風邪薬「パブロンシリーズ」は，2008年1月発売の「パブロンエースAX」の寄与，冬場の風邪の流行等により，254億円（同9.2%増）と伸長しました。発毛剤「リアップシリーズ」も，2008年1月に発売した「リアッププラス」の寄与により114億円（同13.9％増）と順調に推移しました。発売30周年を迎えた「大正漢方胃腸薬」を主力とする「胃腸薬シリーズ」，便秘薬「コーラックシリーズ」等も堅調に推移しました。

○特定保健用食品等

特定保健用食品等の「リビタシリーズ」は，26億円（同11.9％増）と伸長しました。また，海外におけるドリンク剤の売上高は60億円（同2.7％減）となりました。

○その他

その他の売上高は30億円（同7.6％増）となりました。ホテル事業等を行う子会社売上高などを含んでいます。

なお，セルフメディケーション事業におけるビオフェルミン製薬からの売上高寄与額は55億円でした。

＜医薬事業＞

医薬事業の売上高は951億円（前期比2.0％減）となりました。

○医療用医薬品

マクロライド系抗菌薬「クラリス」，末梢循環改善薬「パルクス」については，薬価改定の影響を受けたものの，数量ベースでは増加し，それぞれ240億円（同5.9％減），112億円（同2.4％減）となりました。その他の主力品につきましては，注射用ペニシリン系抗菌薬「ペントシリン」が55億円（同11.2％減），非ステロイド性消炎鎮痛薬「ロルカム」が40億円（同8.0％減）となりました。新製品につきましては，2007年10月に発売したキノロン系抗菌薬「ジェニナック」が37億円（同13.4％増），2008年10月に発売したβ-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗菌薬「ゾシン」が40億円（従来品の「タゾシン」を含む）と，順調な出足となりました。

○その他

その他の売上高は，医療用中間製品の売り上げ減少等により，87億円（同18.5％減）となりました。

○工業所有権等使用料収益

工業所有権等使用料収益は，16億円（同62.2％減）となりました。

なお，医薬事業におけるビオフェルミン製薬からの売上高寄与額は31億円でした。

経営全般

主力事業であるセルフメディケーション事業の市場環境は，少子高齢化の進行や健康志向の高まり，さらに薬事法改正による販売制度の改革などによって大きく変わろうとしています。当社はこれらの変化に機敏に対応し，

生活者ニーズを的確に捉えた商品開発に注力しております。即ち,医療用医薬品の開発ノウハウを活かし,スイッチ成分投入による新効能の取得や既存ブランド品の効果の増強，新素材の発見・獲得，新領域・新効能の開発などにより，新たな市場の創造に取り組んでまいります。また，新規事業におきまして，メタボリックシンドローム対応を目指して，特定保健用食品や健康食品分野の新製品を投入するとともに，通販などの新チャネルの開拓にも注力いたしております。

平成21年6月より，一般用医薬品の新しい販売制度が施行されましたが，これに対応した商品開発やチャネル対応の整備も行います。そしてこれらの製品が，生活者に広く愛用され，末永く支持されますように，生活者向けの情報発信にも注力し，ブランドの育成，強化に努めます。

連結子会社であるビオフェルミン製薬㈱とは今後生産技術の融合や同社の乳酸菌技術を活かした新製品開発，新用途に向けた共同研究等を推進し，相互のシナジー効果を高めてまいります。

医薬事業を取り巻く環境は，医療費適正化の諸施策が進められることにより,一段と厳しさを増しております。当社はこの分野における厳しい競争に勝ち残るため，国際的に通用するオリジナリティーの高い新薬の研究開発に注力するとともに，国内外の企業からの有望薬剤の導入や共同開発を積極的に進め，パイプラインの充実に努めております。

また，新薬開発，マーケティング，販売面などのシナジー効果が十分期待できるようなアライアンスにも前向きに取り組んでいます。

平成20年2月には富士フイルムホールディング（株），富山化学工業（株）および当社の3社間で戦略的資本・業務提携の基本合意に達し，同年10月には富山化学工業㈱との資本関係を一段と強化しました。今後さらに同社との共同研究開発体制を強化し，感染症，炎症・免疫領域での日本のトップ企業を目指してまいります。

海外事業では，ドリンク剤事業の国際的リーダーとしての地位を確立すべく，アジアでの基盤固めに努めますとともに，OTC製品についてもアジア市場の開拓に注力してまいります。

創　業　大正元年10月12日

設　立　昭和3年5月5日

上　場　昭和38年9月

決算期　3月

沿　革

当社は大正元年に「大正製薬所」として創業し，昭和３年に株式会社に改組しました。以来，一般用医薬品を中心としたセルフメディケーション事業では，「リポビタンＤ」など数々のヒット商品を開発，販売し，一般用医薬品の分野ではリーディングカンパニーの地位を築き上げています。

一方，医薬事業では，最新鋭の創薬技術を活用したオリジナリティの高い医薬品開発を行っています。また，2002年には富山化学工業と業務提携を行い，両社の医薬品を販売する大正富山医薬品を設立するなど，積極的な展開を行っています。

資本金　29,804百万円（21年3月末現在）

株式の状況　（21年3月末現在）

総株数　320,465千株

株主数　株主数37,564人（21年3月末現在）

大株主

	株主名	持株比率
第１位	（財）上原記念生命科学財団	13.42％
第２位	上原　昭二	11.43％
第３位	大正製薬㈱	9.65％
第４位	日本トラスティ・サービス信託銀行㈱（信託口４G）	3.12％
第５位	㈱三井住友銀行	3.12％
第６位	㈱三菱東京ＵＦＪ銀行	3.12％
第７位	（財）上原近代美術館	3.12％
第８位	上原　明	2.23％
第９位	日本トラスティ・サービス信託銀行㈱（信託口）	2.23％
第10位	住友化学㈱	2.19％

主要取引銀行

三井住友　三菱東京ＵＦＪ

国内資本提携会社

大正富山医薬品㈱　富山化学工業㈱　ビオフェルミン製薬㈱　養命酒製造㈱

海外資本提携会社

オソサパ大正㈱（タイ）　大正ヒゾン㈱（フィリピン）

支店・営業所

札幌支店：〒064-8571
札幌市中央区南四条西9-1007-16　TEL 011-512-2171

仙台支店：〒980-8670　仙台市青葉区五橋2-1-10
TEL 022-267-2561

名古屋支店：〒464-8632　名古屋市千種区千種2-17-18
TEL 052-733-8111

大阪支店：〒536-8508　大阪市城東区関目6-1-17
TEL 06-6939-1271

金沢支店：〒920-8507　金沢市西念町3-1-11
TEL 076-263-3300

広島支店：〒732-0052　広島市東区光町2-4-17
TEL 082-264-0111

四国支店：〒763-8608　丸亀市風袋町208
TEL 0877-22-1100

福岡支店：〒812-8703　福岡市博多区東比恵3-3-9
TEL 092-451-7831

工場・研究所名

大宮工場：〒331-9520　さいたま市北区吉野町1-403
TEL 048-663-1111

羽生工場：〒348-8540　羽生市小松台1-603-27
TEL 048-563-1121

岡山工場：〒709-4321　岡山県勝田郡勝央町太平台33-2
TEL 0868-38-6131

総合研究所：〒331-9530　さいたま市北区吉野町1-403
TEL 048-663-1111

主な海外拠点

台湾大正製薬股份有限公司　台湾・新竹県　開設：昭和59年
加州大正製薬㈱　米国・カリフォルニア州　開設：昭和63年
香港大正製薬（力保健）有限公司　中国・香港　開設：昭和58年
マレーシア大正製薬㈱　マレーシア・セランゴール州　開設：平成2年
上海大正力保健有限公司　中国・上海　開設：平成9年
フィリピン大正製薬㈱　フィリピン・マカティ　開設：平成4年
インドネシア大正㈱　インドネシア・ジャカルタ　開設：平成7年
オソサパ大正㈱　タイ・バンコク　開設：平成8年
ドイツ大正食品㈲　ドイツ・フランクフルト　開設：平成8年
アジア大正㈱　マレーシア・セランゴール州　開設：平成9年
ヨーロッパ大正製薬㈱　イギリス・ロンドン　開設：平成10年
ベトナム大正㈲　ベトナム・カインホア省　開設：平成11年
大正Ｒ＆Ｄ　ＵＳＡ㈱　米国・ニュージャージー州　開設：平成13年

役　員

会長兼社長：上原（ウエハラ）　明（アキラ）
副会長：大平（オオヒラ）　明（アキラ）
副社長：堀田（ホッタ）　尚孝（ヒサタカ）
副社長：上原（ウエハラ）　茂（シゲル）
常務取締役：酒井（サカイ）　明人（アキヒト）
常務取締役：上原（ウエハラ）　健（ケン）
取締役：佐々木（ササキ）　賢明（ヨシアキ）
取締役：北村（キタムラ）　一泰（クニヒロ）
取締役：滑川（ナメカワ）　良博（ヨシヒロ）
取締役：中禮（チュウレイ）　清実（キヨミ）
取締役：福留（フクドメ）　潤一（ジュンイチ）
取締役：森川（モリカワ）　敏雄（トシオ）
監査役：戸山（トヤマ）　敏（サトシ）
監査役：森本（モリモト）　繁夫（シゲオ）
監査役（非常勤）：吉川（ヨシカワ）　勲（イサオ）
監査役（非常勤）：楠本（クスモト）　節子（セツコ）

従業員の状況（21年３月末現在）

	男	女	計
総数	2,661	866	3,516
平均年齢			40.5
平均給与（千円）			7,742
平均勤続年数			15.5

採用人員（21年４月入社）

男：64人　女：27人

初任給（21年４月入社）

大学院卒（修士）	244,000
大卒（文系）	220,000
大卒（技術系）	220,000
短大卒	170,000
高卒	160,000

福利厚生制度

財形貯蓄制度　従業員持株会　社員共済会　等

福利厚生施設

寮･転勤者社宅　契約保養所　等

労働組合

有　ＵＩゼンセン同盟

研究開発費（連結ベース）

19年度実績	24,745百万円
20年度実績	27,523百万円
21年度（予）	28,700百万円

設備投資（連結ベース）

19年度実績	5,765百万円
20年度実績	5,814百万円
21年度（予）	7,400百万円

医薬品薬効別売上構成比（単独ベース）

	薬効名	構成比
第１位	滋養強壮剤	41.0%
第２位	神経系薬剤	18.0%
第３位	循環器・消化器系薬剤	14.5%
第４位	抗生物質製剤・その他	13.9%
第５位	外皮に作用する薬剤	9.8%

主力製品･医療用

	製品名
第１位	クラリス
第２位	パルクス
第３位	ゾシン
第４位	ジェニナック
第５位	ペントシリン

主力製品・一般用

製品名

第１位　リポビタンシリーズ
第２位　パブロンシリーズ
第３位　リアップシリーズ
第４位　ナロンシリーズ
第５位　胃腸薬シリーズ

薬価基準収載品目数（21年10月2日現在）　35品目

新薬発売状況

製品名	発売年月
ゾシン	平成20年10月
リアップX５	平成21年６月

開発状況（発売準備中も含む）

段階　治験番号　薬効　オリジン
フェーズ3　CT-081　骨粗鬆症　中外製薬
フェーズ2/3　CT－064（注射）　骨粗鬆症　中外製薬
フェーズ2　TT-063　変形性関節症　トクホン
フェーズ2　NT-702　気管支喘息　日産化学
フェーズ2　NT-702　閉塞性動脈硬化症に伴う間欠性跛行　日産化学
フェーズ2　CT-064（経口）　骨粗鬆症　中外製薬
フェーズ2　TS-071　１，２型糖尿病　大正製薬
フェーズ2　TS-022　アトピー性皮膚炎　大正製薬
フェーズ2　パルクス　腰部脊柱管狭窄症に伴う間欠性跛行（適応追加）　大正製薬/田辺三菱製薬

編集者コメント：HPの特徴およびトピックス

「ヘルス＆ビューティー研究所」では，プルーンや生姜など健康食品の原料にスポットを当てた詳しい解説あり。「セルフドクターネット」では体の部位ごとのセルフケアアドバイスとして医師が答えるＱ＆Ａや健康度チェック，目的別のレシピなどがある。メルマガ配信も。製品ブランドごとに特設ページがあり，それぞれにＣＭギャラリーや商品関連の症状情報，キャンペーン情報などが充実。「リポビタンＤ博物館」ページでは，製品ヒストリー，懐かしのＣＭ・ポスター，５問連続正解でデスクトップツールがもらえるクイズなど掲載。「シガノンＣＱ」ページでは禁煙補助支援の携帯配信メールなどのサービスもある。また同社は，ラグビー日本代表チームのオフィシャルスポンサー。上原近代美術館，上原仏教美術館を運営。上原記念生命科学財団は生命科学の振興に貢献。

窓　口

広報：広報室長・坪井　正樹　TEL 03-3985-1115
製品：お客様119番室　TEL 03-3985-1800